

**System Center Configuration Manager および  
System Center Virtual Machine Manager 向け Dell  
EMC OpenManage Integration for Microsoft  
System Center バージョン 7.1.1  
インストールガイド**

## メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2009 ~ 2019 Dell Inc. その関連会社。不許複製・禁無断転載。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

<b>1 OMIMSSC の概要</b> .....	<b>5</b>
<b>2 OMIMSSC コンポーネント</b> .....	<b>6</b>
<b>3 OMIMSSC のインストールまたは管理のワークフロー</b> .....	<b>7</b>
SCCM への OMIMSSC インストールの計画.....	7
SCVMM への OMIMSSC インストールの計画.....	7
OMIMSSC のアップグレード計画.....	8
ある OMIMSSC アプライアンスから別の OMIMSSC アプライアンスへの移行.....	8
<b>4 OMIMSSC のシステム要件</b> .....	<b>9</b>
アカウント権限.....	9
OMIMSSC の一般的なシステム要件.....	9
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件.....	10
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件.....	10
ネットワーク要件.....	10
<b>5 OMIMSSC のインストールおよび設定</b> .....	<b>12</b>
ウェブからの OMIMSSC のダウンロード.....	12
OMIMSSC アプライアンスのセットアップ.....	12
複数の Microsoft コンソールの登録.....	13
OMIMSSC コンポーネントをダウンロードするための OMIMSSC 管理ポータル の起動.....	13
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール.....	14
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール.....	14
OMIMSSC での Microsoft コンソールの登録.....	15
登録済み Microsoft コンソールからの OMIMSSC の起動.....	15
ブラウザでの OMIMSSC IP アドレスの追加.....	15
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動.....	16
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動.....	16
<b>6 OMIMSSC のライセンス</b> .....	<b>17</b>
ライセンスのアップロード後のオプション.....	17
新しく購入した製品のライセンスファイル.....	17
ライセンスのスタッキング.....	17
ライセンスの交換.....	18
ライセンスの再インポート.....	18
複数ライセンスのインポート.....	18
強制.....	18
ライセンスのアップグレード.....	18
評価用ライセンス.....	18

サーバ検出後の OMIMSSC でのライセンス使用.....	18
OMIMSSC へのライセンスのインポート.....	18
ライセンスの詳細情報の表示.....	19
<b>7 OMIMSSC とそのコンポーネントの管理.....</b>	<b>20</b>
OMIMSSC アプライアンスの詳細情報の表示.....	20
OMIMSSC ユーザー管理の表示.....	20
登録済みコンソールの表示または更新.....	20
OMIMSSC アプライアンスのパスワードの変更.....	20
インストールツールの修復または変更.....	20
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張の修復.....	21
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張の修復.....	21
OMIMSSC 管理ポータルでの SCCM および SCVMM アカウントの変更.....	21
OMIMSSC アプライアンスのバックアップ.....	22
OMIMSSC アプライアンスのバックアップ作成.....	22
OMIMSSC アプライアンスの復元.....	22
OMIMSSC アプライアンスの復元.....	22
OMIMSSC のアップグレード.....	23
Service Pack のアップデートについて.....	23
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード.....	26
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード.....	26
OMIMSSC アプライアンスの再起動.....	26
OMIMSSC アプライアンスからのログアウト.....	27
OMIMSSC のアンインストール.....	27
OMIMSSC からの Microsoft コンソールの登録解除.....	27
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール.....	28
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール.....	28
その他のアンインストール手順.....	28
アプライアンス VM の削除.....	29
<b>8 Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス.....</b>	<b>30</b>
デルへのお問い合わせ.....	30

# OMIMSSC の概要

Microsoft System Center 向け OpenManage Integration ( OMIMSSC ) は、製品の System Center スイートへの統合を行います。OMIMSSC を使用すれば、integrated Dell Remote Access Controller ( iDRAC ) および Lifecycle Controller ( LC ) による Dell EMC PowerEdge サーバのライフサイクル全体の管理と、OpenManage Enterprise Modular Edition によるモジュール型システム ( Dell EMC PowerEdge MX7000 ) のライフサイクル全体の管理を行うことができます。

OMIMSSC では、オペレーティングシステムの導入、Storage Spaces Direct クラスタの作成、ハードウェアパッチ、ファームウェア アップデート、デバイスのメンテナンスが行えます。従来のデータセンターでは OMIMSSC を Microsoft System Center Configuration Manager ( SCCM ) と統合してデバイスを管理したり、仮想およびクラウド環境では OMIMSSC を Microsoft System Center Virtual Machine Manager ( SCVMM ) と統合してデバイスを管理したりできます。

SCCM および SCVMM の詳細については、Microsoft のマニュアルを参照してください。

## OMIMSSC コンポーネント

このマニュアルで使用されている OMIMSSC コンポーネントとその名前を以下にリストします。

表 1. OMIMSSC のコンポーネント

コンポーネント	説明
Microsoft System Center 向け OpenManage Integration アプライアンス仮想マシン ( OMIMSSC アプライアンス )	Hyper-V 上で OMIMSSC アプライアンスを CentOS に基づく仮想マシンとしてホストし、次のタスクを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Web Services Management( WSMAN )コマンドを使用して、iDRAC 経由で Dell EMC サーバと通信する。</li> <li>• REST API コマンドを使用して、OpenManage Enterprise Module ( OME モジュール型 ) 経由で Dell EMC PowerEdge MX7000 デバイスと通信する。</li> <li>• OMIMSSC 管理ポータル経由で OMIMSSC アプライアンスを管理できるようにする。</li> </ul>
Microsoft System Center 向け OpenManage Integration コンソール ( OMIMSSC コンソール )	SCCM コンソールと SCVMM コンソールで、次のように同じコンソール拡張機能が使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能</li> <li>• SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能</li> </ul>

管理システムとは、OMIMSSC とそのコンポーネントがインストールされているシステムです。

管理対象システムとは、OMIMSSC によって管理されているサーバです。

# OMIMSSC のインストールまたは管理のワークフロー

以下の説明に従えば、要件に応じて、SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能と SCVMM 用 OMIMSSC 拡張機能のどちらか一方のインストール、既存 OMIMSSC のアップグレード、OMIMSSC の移行の中からタスクを選択して実行することができます。

トピック：

- [SCCM への OMIMSSC インストールの計画](#)
- [SCVMM への OMIMSSC インストールの計画](#)
- [OMIMSSC のアップグレード計画](#)
- [ある OMIMSSC アプライアンスから別の OMIMSSC アプライアンスへの移行](#)

## SCCM への OMIMSSC インストールの計画

### このタスクについて

OMIMSSC を SCCM にインストールするには、次の手順を実行します。

#### 手順

- 1 OMIMSSC を SCCM コンソールにインストールするためのシステム要件を満たしていることを確認します。詳細については、「[OMIMSSC のソフトウェア前提条件および要件](#)」を参照してください。
- 2 サポートサイトからファイルをダウンロードします。詳細については、「[サポートサイトからのダウンロード](#)」を参照してください。
- 3 OMIMSSC アプライアンス VM を作成して設定します。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンス VM の作成および設定](#)」を参照してください。
- 4 OMIMSSC 管理ポータルを起動し、SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をダウンロードしてインストールします。詳細については、「[SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール](#)」を参照してください。
- 5 詳細を入力して、SCCM コンソールを OMIMSSC に登録します。詳細については、「[Microsoft コンソールの登録](#)」を参照してください。
- 6 SCCM コンソールから OMIMSSC を起動します。詳細については、「[SCCM コンソールからの OMIMSSC の起動](#)」を参照してください。

## SCVMM への OMIMSSC インストールの計画

### このタスクについて

OMIMSSC を SCVMM にインストールするには、次の手順を実行します。

#### 手順

- 1 OMIMSSC を SCVMM コンソールにインストールするためのシステム要件を満たしていることを確認します。詳細については、「[OMIMSSC のソフトウェア前提条件および要件](#)」を参照してください。
- 2 サポートサイトからファイルをダウンロードします。詳細については、「[サポートサイトからのダウンロード](#)」を参照してください。
- 3 OMIMSSC アプライアンス VM を作成して設定します。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンス VM の作成および設定](#)」を参照してください。
- 4 OMIMSSC 管理ポータルを起動し、SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をダウンロードしてインストールします。詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のダウンロードおよびインストール](#)」を参照してください。
- 5 詳細を入力して、SCVMM コンソールを OMIMSSC に登録します。詳細については、「[Microsoft コンソールの登録](#)」を参照してください。
- 6 SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をインポートします。詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインポート](#)」を参照してください。
- 7 SCVMM で OMIMSSC コンソール拡張機能を起動します。詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動](#)」を参照してください。

# OMIMSSC のアップグレード計画

## このタスクについて

OMIMSSC をアップグレードするには、次の手順を実行します。

① **メモ:** SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能と SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード手順は同じです。

## 手順

- 1 古い OMIMSSC アプライアンスのバックアップをとりまします。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスのバックアップ作成](#)」を参照してください。
- 2 統合ゲートウェイをアンインストールします。詳細については、『*OpenManage Integration Version 7.0 for Microsoft System Center Installation Guide*』（Microsoft System Center 用 OpenManage Integration バージョン 7.0 インストールガイド）を参照してください。  
**① **メモ:** アンインストールする前に、統合ゲートウェイをにる共有フォルダで作成されたデータをすべて保存するようにしてください。**
- 3 SCVMM の **OMIMSSC コンソール拡張機能** を削除して、再度インポートします。
- 4 SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能または SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をアップグレードします。  
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレードに関する詳細については、「[SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能](#)」を参照してください。SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレードに関する詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード](#)」を参照してください。
- 5 古い OMIMSSC アプライアンスを、新しい OMIMSSC アプライアンスに復元します。詳細については、「[アプライアンスの復元](#)」を参照してください。
- 6 SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能を SCVMM コンソールにインポートします。
- 7 シャットダウンしてから、古い OMIMSSC アプライアンスを削除します。

① **メモ:** 復元後、古い OMIMSSC アプライアンスから Microsoft コンソールの登録を解除しないでください。解除すると、Microsoft コンソールで作成された OMIMSSC プロファイルが削除されます。

# ある OMIMSSC アプライアンスから別の OMIMSSC アプライアンスへの移行

## このタスクについて

ある OMIMSSC アプライアンスから別の OMIMSSC アプライアンスに移行するには、次の手順を実行します。

## 手順

- 1 既存の OMIMSSC アプライアンスデータをバックアップします。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスのバックアップ作成](#)」を参照してください。
- 2 バックアップした OMIMSSC アプライアンスを、新しい OMIMSSC アプライアンスに復元します。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスの復元](#)」を参照してください。
- 3 シャットダウンしてから、古い OMIMSSC アプライアンスを削除します。

① **メモ:** 復元後、古い OMIMSSC アプライアンスから Microsoft コンソールの登録を解除しないでください。解除すると、Microsoft コンソールで作成された OMIMSSC プロファイルが削除されます。

# OMIMSSC のシステム要件

トピック：

- アカウント権限
- OMIMSSC の一般的なシステム要件
- SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件
- SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件
- ネットワーク要件

## アカウント権限

OMIMSSC を使用するために必要なすべてのアカウント権限は、次のとおりです。

SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアカウント権限とは、ユーザーが SCCM の次のグループのメンバーであることです。

表 2. 必要な権限のあるユーザーアカウント

ユーザー	権限 / 役割
登録時	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OMIMSSC への SCCM コンソールの登録に使用するアカウントは、SCCM の委任管理者または管理者である必要があります。</li> <li>• OMIMSSC への SCVMM コンソールの登録に使用するアカウントは、SCVMM の委任管理者または管理者である必要があります。</li> <li>• ドメインユーザー</li> <li>• ローカル管理者グループのメンバー</li> </ul>
コンソール拡張機能へのログイン時	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OMIMSSC への SCCM コンソールの登録に使用するアカウントは、SCCM の委任管理者または管理者である必要があります。</li> <li>• OMIMSSC への SCVMM コンソールの登録に使用するアカウントは、SCVMM の委任管理者または管理者である必要があります。</li> <li>• ドメインユーザー</li> <li>• ローカル管理者グループのメンバー</li> </ul>

① | **メモ:** OMIMSSC コンソール拡張機能の登録とログインには、同じアカウントを使用することを推奨します。

## OMIMSSC の一般的なシステム要件

OMIMSSC をインストールする前に、リストにある 3 つの OMIMSSC コンポーネントに基づき、次のソフトウェア前提条件をインストールしてください。

- OMIMSSC アプライアンス：
  - Windows Server をインストールして、Hyper-V 役割を有効にする。
  - OMIMSSC がマルチコンソール登録をサポートするようになったため、任意の数の SCCM または SCVMM コンソールを 1 台の OMIMSSC アプライアンスに登録できるようになりました。登録コンソール数に応じたハードウェア要件は次のとおりです。

表 3. ハードウェア要件

コンポーネント	SCCM または SCVMM コンソール 1 台の場合	SCCM または SCVMM コンソール N 台の場合
RAM	8 GB	8 GB x N
プロセッサ数	4	4 x N

- 次の Windows オペレーティングシステムのいずれかをインストール：
  - Windows Server 2016
  - Windows Server 2012 R2
  - Windows Server 2012
- OMIMSSC 管理ポータル：
  - 次のいずれかのサポート対象ブラウザをインストール：
    - Internet Explorer 10 以降
    - Mozilla Firefox 30 以降
    - Google Chrome 23 以降
    - Microsoft Edge

次の特定の OMIMSSC システム要件を満たすには、使用するコンソールに応じて次のリンクの説明にある要件に従ってください。

- [SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件](#)
- [SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件](#)

## SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件

SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をインストールするには、次の手順を実行します。

- 同じバージョンの SCCM 管理コンソールと SCCM サイトサーバをインストールしてください。

## SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をインストールするには、次の手順を実行します。

- 同じバージョンの SCVMM 管理コンソールと SCVMM サーバをインストールします。
- SCVMM サーバのフェイルオーバークラスタリング機能を有効にします。

## ネットワーク要件

OMIMSSC アプライアンスが使用するポート：

さまざまな OMIMSSC コンポーネントが次のリストのポートを使用します。これらのポートはファイアウォールの例外リストにも入っています。

表 4. ポート情報

使用状況	プロトコル	ポート番号
iDRAC 通信	WSMan	—
モジュラーシステム	REST	—

使用状況	プロトコル	ポート番号
自動検出	HTTPS	—
iDRAC — これらのポートは、インストールツールまたはユーザーによって作成された CIFS 共有に iDRAC がアクセスできるように有効化されています。	HTTPS	135 から 139、および 445

# OMIMSSC のインストールおよび設定

トピック：

- ウェブからの OMIMSSC のダウンロード
- OMIMSSC アプライアンスのセットアップ
- 複数の Microsoft コンソールの登録
- OMIMSSC コンポーネントをダウンロードするための OMIMSSC 管理ポータルへの起動
- OMIMSSC での Microsoft コンソールの登録
- 登録済み Microsoft コンソールからの OMIMSSC の起動

## ウェブからの OMIMSSC のダウンロード

### このタスクについて

OMIMSSC を <https://www.dell.com/support> からダウンロードするには、次の手順を実行します。

#### 手順

- 1 すべてのプロダクトのブラウズソフトウェアエンタープライズシステム管理 Microsoft システム用 OpenManage Integration の順にクリックします。
- 2 必要なバージョンの OMIMSSC を選択します。
- 3 **ドライバおよびダウンロード** タブをクリックします。
- 4 OMIMSSC VHD ファイルをダウンロードします。
- 5 VHD ファイルを抽出し、OMIMSSC アプライアンスをセットアップします。

## OMIMSSC アプライアンスのセットアップ

### 前提条件

OMIMSSC アプライアンスをセットアップする Hyper-V が、次の要件を満たしていることを確認してください。

- 仮想スイッチ が設定済みであり、使用可能である。
- 登録する Microsoft コンソール数に応じたメモリが、OMIMSSC アプライアンス VM に割り当てられている。詳細については、「[一般的な要件](#)」を参照してください。

### このタスクについて

OMIMSSC アプライアンスをセットアップするには、次の手順を実行します。

#### 手順

- 1 次の手順に従って、OMIMSSC アプライアンス VM をインストールします。
  - a **Windows サーバの Hyper-V マネージャのアクション** メニューで、**新規** を選択して **Virtual Machine Manager** を選択します。  
**仮想マシンの新規作成ウィザード** が表示されます。
  - b **開始する前に** で **次へ** をクリックします。
  - c **名前と場所の指定** では、仮想マシンの名前を入力します。  
仮想マシンを別の場所に格納する場合は、**別の場所に仮想マシンを格納** を選択し、**ブラウズ** をクリックして、新しい場所をスキャンします。
  - d **世代の指定** で、**第 1 世代** を選択してから、**次へ** をクリックします。
  - e **メモリの割り当て** で、前提条件で示されるメモリ容量を割り当てます。

- f ネットワークの設定の **接続** で、使用するネットワークを選択して、**次へ** をクリックします。
  - g **仮想ハードディスクの接続** で **既存の仮想ハードディスクを使用** を選択し、**OMIMSSCOMIMSSC\_v71.0\_for\_VMM\_and\_ConfigMgr VHD** ファイルがある場所をスキャンして、そのファイルを選択します。
  - h **概要** で指定した詳細を確認し、**完了** をクリックします。
  - i **仮想プロセッサ数** の値を 4 に設定します。デフォルトでは、プロセッサ数は 1 に設定されています。  
プロセッサ数を設定するには次のようにします。
    - 1 OMIMSSC アプライアンスを右クリックして、**設定** を選択します。
    - 2 **設定** で **プロセッサ** を選択し、**仮想プロセッサ数** を 4 に設定します。
- 2 OMIMSSC アプライアンス VM を起動して、次のタスクを実行します。
  - 3 OMIMSSC アプライアンスが起動したら、次のタスクを実行します。

① **メモ:** すべてのサービスが開始されるように、5 分間待ってから **Admin** としてログインすることを推奨します。

- a **localhost ログイン** に admin と入力します。
- b **新しい管理者パスワードを入力** にパスワードを入力します。
- c **新しい管理者パスワードを確認してください** にパスワードを再入力し、**Enter** を押して続行します。
- d リストされたオプションで、**ネットワークの設定** を選択して **Enter** キーを押し、次のサブステップを実行します。
  - **NetworkManagerTUI** で、**システムホスト名の設定** を選択し、OMIMSSC アプライアンス名を入力して、**OK** をクリックします。  
たとえば、Hostname.domain.com などとします。

① **メモ:** ネットワークの設定 オプションを選択して、OMIMSSC アプライアンスの IP アドレスを変更します。これ以降、OMIMSSC アプライアンスの IP アドレスあるいはホスト名を変更することはできません。

- 固定 IP アドレスを指定する場合は、**接続の編集**、**Ethernet0** の順に選択します。  
**IPv4 設定** で **手動** を選択して、**表示** をクリックします。IP 設定アドレス、ゲートウェイアドレス、DNS サーバ IP を指定して、**OK** をクリックします。
- e OMIMSSC アプライアンスの OMIMSSC 管理ポータル URL をメモしておいてください。

① **メモ:** OMIMSSC アプライアンスの IP と FQDN を DNS の 前方参照ゾーン および 逆引き参照ゾーン に追加します。

## 複数の Microsoft コンソールの登録

OMIMSSC に複数の Microsoft コンソールが登録されている場合は、OMIMSSC アプライアンスのリソースを管理します。

### 前提条件

OMIMSSC アプライアンスに登録する Microsoft コンソール数に応じて、ハードウェア要件を満たしていることを確認してください。詳細については、「[OMIMSSC の一般的なシステム要件](#)」を参照してください。

### このタスクについて

複数の Microsoft コンソールのリソースを設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 1 OMIMSSC アプライアンスを起動してログインします。
- 2 **登録パラメーターの設定** に移動し、**Enter** キーをクリックします。
- 3 OMIMSSC アプライアンスに登録するコンソール数を入力します。  
必要なリソースの一覧が表示されます。

## OMIMSSC コンポーネントをダウンロードするための OMIMSSC 管理ポータルの起動

- 1 ブラウザを起動し、OMIMSSC アプライアンスへのログインに使用したのと同じ資格情報で OMIMSSC 管理ポータルにログインします。  
フォーマット : `https://<IP アドレス>`

① **メモ:** OMIMSSC 管理ポータル URL をローカルイントラネットサイトに追加します。詳細については、「[ブラウザでの OMIMSSC IP アドレスの追加](#)」を参照してください。

- ダウンロード、インストールツールのダウンロードの順にクリックして、必要なコンソール拡張機能をダウンロードします。

## SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール

### 前提条件

- SCCM 管理コンソールを使用する前に、SCCM サイトサーバに OMIMSSC をインストールするようにしてください。
- SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール、アップグレード、アンインストールを行う前に、Configuration Manager を閉じておくことを推奨します。

### 手順

- OMIMSSC\_SCCM\_Console\_Extension.exe をダブルクリックします。  
ようこそ 画面が表示されます。
- 次へ をクリックします。
- ライセンス契約 ページで、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、次へ をクリックします。
- インストール先フォルダ ページには、デフォルトのインストールフォルダが選択されています。場所を変更するには、**変更** をクリックし、新しい場所をスキャンして、次へ をクリックします。
- プログラムインストールの準備完了 ページで、**インストール** をクリックします。  
コンソール拡張機能をインストールすると、次のフォルダが作成されます。
  - Log : コンソール関連ログ情報が入ったフォルダです。
- インストールが完了しました で、**終了** をクリックします。

## SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール

### 前提条件

- SCVMM 管理サーバおよび SCVMM コンソールに OMIMSSC コンソール拡張機能をインストールします。OMIMSSC コンソールのインストールが完了したら、SCVMM にコンソール拡張機能をインポートしてください。

### 手順

- OMIMSSC\_SCVMM\_Console\_Extension.exe をダブルクリックします。  
ようこそ 画面が表示されます。
- 次へ をクリックします。
- ライセンス契約 ページで、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、次へ をクリックします。
- インストール先フォルダ ページには、デフォルトのインストールフォルダが選択されています。場所を変更するには、**変更** をクリックし、新しい場所をスキャンして、次へ をクリックします。
- プログラムインストールの準備完了 ページで、**インストール** をクリックします。  
コンソール拡張機能をインストールすると、次のフォルダが作成されます。
  - Log : コンソール関連ログ情報が入ったフォルダです。
  - OMIMSSC\_UPDATE : Cluster Aware Update ( CAU ) に必要なすべてのアクティビティが入ったフォルダです。このフォルダには、CAU 操作専用の読み取り / 書き込み権限があります。このフォルダには、Windows Management Instrumentation ( WMI ) 権限が設定されています。詳細については、Windows のマニュアルを参照してください。
- InstallShield ウィザードを完了しました ページで、**終了** をクリックします。
- SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能を SCVMM コンソールにインポートします。

# OMIMSSC での Microsoft コンソールの登録

## 前提条件

次の前提条件と必要なアカウント権限を満たしていることを確認します。

- Microsoft がセットアップされているシステムのユーザー資格情報。
- SCCM ユーザーの場合：
  - SCCM コンソール用 OMIMSSC コンソール拡張機能がインストール済み。
  - SCCM の FQDN
- SCVMM ユーザーの場合：
  - SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能がインストール済み。
  - SCVMM の FQDN

## このタスクについて

SCCM または SCVMM コンソールを OMIMSSC に登録するは、次の手順を実行します。

### 手順

- 1 ブラウザを開き、OMIMSSC アプライアンスの URL を入力します。  
OMIMSSC 管理ポータルページが表示されます。
- 2 **設定、コンソール登録、登録** の順にクリックします。  
**コンソールを登録** ページが表示されます。
- 3 コンソールの名前と説明を入力します。
- 4 SCCM サイトサーバまたは SCVMM サーバの FQDN と資格情報を入力します。
- 5 ( オプション ) **新規作成** をクリックして、SCCM または SCVMM コンソールにアクセスするための Windows タイプの資格情報プロファイルを作成します。  
資格情報プロファイルの作成に関する詳細は、『Microsoft System Center 向け OpenManage Integration User's Guide』( Microsoft System Center 用 OpenManage Integration ユーザーズガイド ) を参照してください。

- ① **メモ:** コンソール登録のための資格情報プロファイルの作成時に、ドメイン名とトップレベルドメイン ( TLD ) の詳細情報を指定しません。

たとえば、ドメイン名が mydomain で TLD が com の場合は、資格情報プロファイルのドメイン名に mydomain.com と指定します。

- 6 OMIMSSC アプライアンスと Microsoft コンソール間の接続を確認するには、**テスト接続** をクリックします。
- 7 テスト接続の完了後、コンソールを登録するには、**登録** をクリックします。

- ① **メモ:** 登録が完了すると、OMIMSSC は OMIMSSC SCVMM コンソール拡張機能登録プロファイルという名前で、SCVMM にアカウントを作成します。このプロファイルを削除しないようにしてください。削除すると、OMIMSSC で一切の操作が実行できなくなります。

- ① **メモ:** SCCM 管理コンソールで、OMIMSSC コンソール拡張機能を使用するように SCCM サイトサーバを登録します。

## 登録済み Microsoft コンソールからの OMIMSSC の起動

登録済み SCCM または SCVMM コンソールから OMIMSSC を起動します。

## ブラウザでの OMIMSSC IP アドレスの追加

### このタスクについて

OMIMSSC を起動する前に、次の手順を実行して、前提条件として OMIMSSC の IP アドレスを **ローカルイントラネット** サイトリストに追加します。

## 手順

- 1 **IE の設定** をクリックし、**インターネットオプション** をクリックします。
- 2 **詳細設定** をクリックして、**設定** で **セキュリティ** セクションを探します。
- 3 **暗号化されたページをディスクに保存しない** オプションをクリアして、**OK** をクリックします。

# SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動

## 前提条件

「[アカウント権限](#)」に記述されているユーザー権限テーブルが表示されます。

## 手順

SCCM コンソールで、**情報およびコンプライアンス**、**概要**、**SCCM 用 OMIMSSC コンソールの拡張機能** の順にクリックします。

- ① **メモ:** SCCM コンソールへの接続にリモートデスクトッププロトコル ( RDP ) を使用している場合は、RDP が閉じると OMIMSSC セッションがログアウトされます。そのため、RDP セッションを再度開いて、再度ログインしてください。

# SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 SCVMM にコンソール拡張機能をインポートします。詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインポート](#)」を参照してください。
- 2 SCVMM でコンソール拡張機能を起動します。詳細については、「[SCVMM からの OMIMSSC コンソール拡張機能の起動](#)」を参照してください。

# SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインポート

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をインポートするには、次の手順を実行します。

- 1 管理者権限または委任管理者権限を使用して、SCVMM コンソールを起動します。
- 2 **設定、コンソールアドインのインポート** の順にクリックします。  
**コンソールアドインのインポートウィザード** が表示されます。
- 3 **ブラウズ** をクリックし、C:\Program Files\OMIMSSC\VMM Console Extension で .zip ファイルを選択して、**次へ**、**完了** の順にクリックします。  
アドインが有効なことを確認します。

# SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動

- 1 SCVMM コンソールで **ファブリック** を選択してから、**すべてのホスト** サーバグループを選択します。  
① **メモ:** OMIMSSC の起動には、アクセス可能な任意のホストグループを選択できます。
- 2 **ホーム** リボンで、**DELL EMC OMIMSSC** をリボンから選択します。

## OMIMSSC のライセンス

OMIMSSC には、次の 2 種類のライセンスがあります。

- 評価版ライセンス：インストールすると自動的にインポートされる、サーバ（ホストまたは未割り当て）5 台分の評価版ライセンスからなる評価版のライセンスです。第 11 世代以降の Dell EMC サーバにのみ適用されます。
- 本番ライセンス：OMIMSSC で管理するサーバ数に応じて、Dell EMC から本番ライセンスを購入できます。このライセンスには、製品サポートと OMIMSSC アプライアンスのアップデートも含まれています。

ライセンスを購入すると、.XML ファイル（ライセンスキー）を、Dell Digital Locker からダウンロードできるようになります。ライセンスキーをダウンロードできない場合は、[dell.com/support/softwarecontacts](http://dell.com/support/softwarecontacts) に掲載されている、地域および製品ごとのデルサポートの電話番号までお問い合わせください。

ライセンスファイルが 1 つあれば、OMIMSSC でサーバの検出を行うことができます。OMIMSSC でサーバが検出されると、ライセンスが使用されます。サーバが削除されると、ライセンスは解放されます。次のアクティビティは、OMIMSSC のアクティビティログに記録されます。

- ライセンスファイルがインポートされた。
- OMIMSSC からサーバが削除され、ライセンスが譲渡された。
- サーバが検出され、ライセンスが使用された。

評価版ライセンスから本番ライセンスにアップグレードすると、評価版ライセンスは本番ライセンスで上書きされます。**ライセンスノード** 数は、購入した本番ライセンス数と同一です。

トピック：

- [ライセンスのアップロード後のオプション](#)
- [強制](#)
- [OMIMSSC へのライセンスのインポート](#)
- [ライセンスの詳細情報の表示](#)

## ライセンスのアップロード後のオプション

以下は、OMIMSSC のライセンス機能にサポートされるオプションです。

### 新しく購入した製品のライセンスファイル

新規ライセンスを注文すると、注文確認の電子メールがデルから届き、Dell Digital ストアから新しいライセンスファイルをダウンロードできます。ライセンスは .xml 形式です。ライセンスが .zip 形式の場合、ライセンスの XML ファイルを抽出してからアップロードします。

### ライセンスのスタッキング

本番ライセンスを複数スタックしておき、アップロードしたライセンスの合計サーバ数までサポート対象サーバ数を増やすことができます。評価ライセンスはスタックできません。スタックでサポート対象サーバ数を増やすことはできません。複数の OMIMSSC アプライアンスを使用する必要があります。

すでに複数のライセンスがアップロードされている場合、サポート対象ホスト数は最後にライセンスをアップロードした時点のライセンスの合計サーバ数です。

## ライセンスの交換

注文に問題がある場合、あるいは変更または破損したファイルをアップロードしようとする、同じエラーメッセージが表示されます。Dell Digital Locker から別のライセンスファイルをリクエストできます。受け取った交換用ライセンスには、以前のライセンスと同じ使用資格 ID が入っています。交換用のライセンスをアップロードする際、同じ資格 ID のライセンスがすでにアップロードされていると、そのライセンスは置き換えられます。

## ライセンスの再インポート

同じライセンスファイルをインポートしようとする、エラーメッセージが表示されます。新しいライセンスを購入して、インポートしてください。

## 複数ライセンスのインポート

異なる登録 ID が入ったライセンスファイルを複数インポートして、OMIMSSC で検出およびメンテナンスするサーバ数を増やすことができます。

## 強制

## ライセンスのアップグレード

サポートされているすべてのサーバ世代向けの既存のライセンスファイルが、OMIMSSC に使用できます。ライセンスファイルが最新のサーバ世代をサポートしていない場合は、新しいライセンスを購入してください。

## 評価用ライセンス

評価ライセンスの有効期限が切れると、いくつかの主要な領域の動作が停止し、エラーメッセージが表示されます。

## サーバ検出後の OMIMSSC でのライセンス使用

ホストの追加またはベアメタルサーバの検出を試みると、使用状況について警告されます。次のような状況では、新規ライセンスを購入することが推奨されています。

- ライセンスされたサーバの数が、購入したライセンスの数を超過している場合
- 検出したサーバの数が、購入したライセンスの数と同じ場合
- 購入したライセンスの数を超過するので、猶予ライセンスが与える場合
- 購入したライセンスの数を超過していて、そのすべてが猶予ライセンスの場合

① **メモ:** 猶予ライセンスの数は、購入したライセンス合計の 20 パーセントです。したがって、OMIMSSC で実際に使用できるライセンスの数は、購入したライセンス数と猶予ライセンス数を足し合わせた数となります。

## OMIMSSC へのライセンスのインポート

### このタスクについて

ライセンスを購入したら、次の手順に従い OMIMSSC にインポートします。

## 手順

- 1 OMIMSSC 管理ポータルで、**ライセンスセンター** をクリックします。
- 2 **ライセンスのインポート** をクリックして、Dell Digital Store からダウンロードしたライセンスファイルを参照して選択します。

① **メモ:** インポートできるのは、有効なライセンスファイルだけです。ファイルが破損または改ざんされている場合は、それに応じてエラーメッセージが表示されます。Dell Digital Store からファイルを再度ダウンロードするか、デルの担当者に連絡して有効なライセンスファイルを手に入れてください。

## ライセンスの詳細情報の表示

- 1 ブラウザを開き、OMIMSSC アプライアンスの URL を入力します。  
OMIMSSC 管理ポータルのログインページが表示されます。
- 2 **License Center (ライセンスセンター)** をクリックします。  
ページには以下の情報が表示されます。

**License Summary (ライセンス概要)** - OMIMSSC のライセンスの詳細情報が表示されます。

- **Licensed nodes (ライセンスされたノード)** - 購入したライセンスの総数。
- **Nodes in use (使用中ノード)** - 検出されてライセンスを使用しているサーバの数。
- **Nodes Available (使用可能ノード)** - OMIMSSC で検出できる残りのライセンスノード。

**Managing Licenses (ライセンスの管理)** - インポートされた各ライセンスファイルを詳細情報 (資格 ID、製品の説明、ライセンスファイルをインポートした日付、ライセンスファイルの有効期間の開始日、ライセンスによってサポートされるすべてのサーバ世代のリストなど) と共に表示します。

# OMIMSSC とそのコンポーネントの管理

## OMIMSSC アプライアンスの詳細情報の表示

- 1 ブラウザから OMIMSSC 管理ポータルを起動します。
- 2 OMIMSSC アプライアンス VM へのログイン時に使用した資格情報と同じ資格情報を使用して OMIMSSC 管理ポータルにログインし、**アプライアンスの詳細情報** をクリックします。OMIMSSC アプライアンスの IP アドレスとホスト名が表示されます。

## OMIMSSC ユーザー管理の表示

- 1 ブラウザから OMIMSSC 管理ポータルを起動します。
- 2 OMIMSSC アプライアンス VM へのログイン時に使用した資格情報と同じ資格情報を使用して OMIMSSC 管理ポータルにログインし、**OMIMSSC ユーザー管理** をクリックします。前回 SCCM または SCVMM にログインしたユーザーのステータスが表示されます。

## 登録済みコンソールの表示または更新

### このタスクについて

次の手順を実行すると、OMIMSSC に登録されているすべての Microsoft コンソールが表示されます。

### 手順

- 1 OMIMSSC 管理ポータルで、**設定**、**コンソール登録** の順にクリックします。  
登録されているすべてのコンソールが表示されます。
- 2 登録されているコンソールの最新のリストを表示するには、**更新** をクリックします。

## OMIMSSC アプライアンスのパスワードの変更

### このタスクについて

OMIMSSC アプライアンス VM のパスワードを変更するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 1 OMIMSSC アプライアンス VM を起動し、古い認定資格を使用してログインします。
- 2 **管理者パスワードの変更** に移動して、**Enter** キーを押します。  
パスワードを変更する画面が表示されます。
- 3 現在のパスワードを入力し、リストされている条件を満たす新しいパスワードを入力します。新しいパスワードを再度入力し、**Enter** キーを押します。  
パスワード変更後のステータスが表示されます。
- 4 ホームページに戻るには、**Enter** キーを押します。

## インストールツールの修復または変更

インストールツールファイルのいずれかを修復するには、次の説明を参照してください。

- [SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の修復](#)
- [SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の修復](#)

# SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張の修復

OMIMSSC ファイルが破損した場合に、ファイルを修復するには次の手順を実行します。

- 1 SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張インストーラを実行します。  
**Welcome** (ようこそ) 画面が表示されます。
- 2 **Next** (次へ) をクリックします。
- 3 **Program Maintenance** (プログラムメンテナンス) で、**Repair** (修復) を選択して **Next** (次へ) をクリックします。  
**Ready to Repair the Program** (プログラム修正の準備完了) 画面が表示されます。
- 4 **Install** (インストール) をクリックします。  
進行状況画面にインストールの進行状況が表示されます。インストールの完了後、**InstallShield Wizard Completed** (InstallShield ウィザード完了) ウィンドウが表示されます。
- 5 **終了** をクリックします。

# SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張の修復

OMIMSSC ファイルが破損した場合に、ファイルを修復するには次の手順を実行します。

- 1 **SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張**インストーラを実行します。
- 2 **Program Maintenance** (プログラムメンテナンス) で、**Repair** (修復) を選択して **Next** (次へ) をクリックします。
- 3 **Ready to Repair or Remove the program** (プログラムの修復または削除の準備完了) で、**Repair** (修復) をクリックします。
- 4 修復タスクが完了したら、**Finish** (終了) をクリックします。

# OMIMSSC 管理ポータルでの SCCM および SCVMM アカウントの変更

## このタスクについて

このオプションを使用すると、OMIMSSC コンソールで SCCM と SCVMM アカウントのパスワードを変更できます。

OMIMSSC 管理ポータルから、SCCM および SCVMM 管理者パスワードを変更することができます。このプロセスは連続したアクティビティです。

- 1 Active Directory の SCCM または SCVMM 管理者アカウントのパスワードを変更します。
- 2 OMIMSSC でパスワードを変更します。

OMIMSSC で SCCM または SCVMM 管理者アカウントを変更するには、次の手順を実行します。

## 手順

- 1 OMIMSSC 管理ポータルで、**設定、コンソールの登録** の順にクリックします。  
登録済みコンソールが表示されます。
- 2 編集するコンソールを選択し、**編集** をクリックします。
- 3 新しいパスワードを入力し、**終了** をクリックして変更を保存します。

## 次の手順

パスワードの更新後、新しい資格情報を使用して Microsoft コンソールと OMIMSSC コンソール拡張機能を再起動してください。

# OMIMSSC アプライアンスのバックアップ

OMIMSSC アプライアンスの **アプライアンスデータのバックアップ** オプションを使用して、登録 Microsoft コンソール、検出デバイス、プロファイル、アップデートソース、運用テンプレート、ライセンス、完了ジョブなどの OMIMSSC 情報を OMIMSSC コンソール拡張機能に保存します。

## OMIMSSC アプライアンスのバックアップ作成

### 前提条件

- OMIMSSC で実行中のジョブがないことを確認します。

### このタスクについて

OMIMSSC アプライアンスのバックアップを作成するには、次の手順を実行します。

### 手順

- OMIMSSC アプライアンス VM を起動します。
- 管理パスワード**を入力して、**Enter** キーを押します。  
OMIMSSC アプライアンスが表示されます。
- アプライアンスデータをバックアップ** に移動して、**Enter** キーを押します。

## OMIMSSC アプライアンスの復元

次のどちらの場合にも、OMIMSSC アプライアンスのデータを復元できます。

- 新バージョンにアップグレードする前の OMIMSSC
- 別の OMIMSSC アプライアンスに移行する前の OMIMSSC アプライアンス

## OMIMSSC アプライアンスの復元

### 前提条件

新しい OMIMSSC アプライアンスで操作を実行する前に、忘れずにデータを復元してください。

### このタスクについて

古い OMIMSSC アプライアンスのデータを新しい OMIMSSC アプライアンスに復元するには、次の手順を実行します。

### 手順

- OMIMSSC 管理ポータルで、**設定**、**アプライアンスの復元** の順にクリックします。  
**復元** ページが表示されます。
- IP アドレス** に古い OMIMSSC アプライアンスの IP アドレスを指定して、**復元** をクリックします。  
新しい OMIMSSC アプライアンスに情報が復元されます。

OMIMSSC アプライアンスの再起動後に復元のステータスを表示するには、次の手順を実行します。

- OMIMSSC 管理ポータルにログインします。

 **メモ:** すべてのサービスが開始されるように、ログインする前に数分間待ってからログインすることを推奨します。

- 設定** を展開して、**ログ** をクリックします。
- `dlicpliance_main.log` ファイルをダウンロードし、次のメッセージを検索して復元に成功したかどうかを確認します。

```
Successfully restored OMIMSSC Appliance
```

### 次の手順

古い OMIMSSC アプライアンスの復元が終了したら、次の手順を実行します。

- 古い OMIMSSC アプライアンスの復元後、スケジュールジョブを作成し直すことをお勧めします。
- 以前のバージョンの OMIMSSC からエクスポートしたハイパーバイザプロファイルの場合は、プロファイルを編集してから、ISO ファイルパスと Windows 資格情報プロファイルを指定するようにしてください。

## OMIMSSC のアップグレード

OMIMSSC のインストールおよび設定後、利用できるサービスパックのアップデートがある場合は、OMIMSSC の Service Pack Update 機能を使用して最新のアップデートをインストールできます。

## Service Pack のアップデートについて

OMIMSSC のリリース以後、既存の OMIMSSC アプライアンスに対するアップグレードまたは拡張機能として使用可能な、重要な欠陥の修正または機能の追加を共有する必要があります。Service Pack と OMIMSSC アプライアンスオペレーティングシステムおよび OMIMSSC に対するその他のアップデートのアップデートを行うことができます。

- Service Pack ファイルは、任意の HTTP サーバーに配置して、Service Pack のファイルを使用してアップデートを行なうことができます。
- これらの Service Pack を段階的に適用することができます。ただし、一度適用した後に元に戻すことはできません。
- この Service Pack は累積的です。つまり、最新の Service Pack では以前のすべてのリリースからの修正が含まれています。

Service Pack アップデートは、次の 2 つの方法で適用できます。

- オフライン パッケージを使用してアップデートする。
- <https://www.linux.dell.com/> を使用してアップデートする。

オフライン パッケージを使用して Service Pack アップデートを適用するには、次の手順を実行します。

- 1 ウェブから Service Pack をダウンロードします。詳細については、「[ウェブからの OMIMSSC のダウンロード](#)」を参照してください。
- 2 Service Pack アップデートの前提条件のリストを確認します。詳細については、「[Service Pack アップデートの前提条件](#)」を参照してください。
- 3 ダウンロードした Service Pack アップデートをリポジトリにコピーします。詳細については、「[Service Pack アップデートのリポジトリへのコピー](#)」を参照してください。
- 4 OMIMSSC 管理ポータルで、リポジトリの URL 情報を入力します。詳細については、「[リポジトリの URL 情報の入力](#)」を参照してください。
- 5 Service Pack アップデートをインストールします。詳細については、「[Service Pack アップデートのインストール](#)」を参照してください。

[www.linux.dell.com](http://www.linux.dell.com) を使用して Service Pack アップデートを適用するには、次の手順を実行します。

- 1 OMIMSSC 管理ポータルで、リポジトリの URL 情報を入力します。詳細については、「[リポジトリの URL 情報の入力](#)」を参照してください。
- 2 Service Pack アップデートをインストールします。詳細については、「[Service Pack アップデートのインストール](#)」を参照してください。

## インストールの必要条件

- SCCM および SCVMM 向け OMIMSSC をバージョン 7.1.1 にアップグレードする前に、SCCM および SCVMM 向け OMIMSSC バージョン 7.1 が導入されていることを確認します。
- 実行中のジョブがないことを確認します。実行中の場合は、そのジョブが完了するまで待ちます。
- OMIMSSC アプライアンス データのバックアップを作成します。

- ① **メモ:** バックアップの手順の詳細については、『[System Center Configuration Manager および System Center Virtual Machine Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration for Microsoft System Center バージョン 7.1.1 インストール ガイド](#)』の「[OMIMSSC アプライアンスのバックアップ](#)」を参照してください。

## Service Pack のアップグレード手順

OMIMSSC を旧バージョンからアップグレードするには、現在のバージョンのデータをバックアップしてから、Service Pack を使用してアップデートします。

- 1 OMIMSSC 管理ポータルで、[ 設定 ] > [ **Service Pack アップデート** ] をクリックします。
- 2 [ **リポジトリ URL** ] ボックスに、次のアップデート方法のどちらを使用するかに応じて、Service Pack リポジトリの場所の URL を入力します。
  - a オフライン パッケージを使用してアップデートするには、[ **リポジトリ URL** ] ボックスに、「http://<ホスト名または IP アドレス>/OMIMSSC\_v7.1.1\_SP/RPM\_Repository」形式で Service Pack が保存されている場所の URL 情報を入力します。
  - b linux.dell.com を使用してアップデートするには、[ **リポジトリ URL** ] ボックスに、「http://linux.dell.com/repo/omimssc-sccm-scvmm/<Service Pack バージョン>」形式で URL 情報を入力し、必要に応じてプロキシ サーバーの詳細情報とサーバーにアクセスするための認証情報を入力して、[ **保存** ] をクリックします。
- ① **メモ:** 必要に応じて、プロキシ サーバーの情報とプロキシ サーバーにアクセスするためのログイン認証情報を入力します。
- 3 [ **アップデートを自動的にチェック** ] チェック ボックスを選択します現在のバージョンの OMIMSSC および Service Pack が表示されます。
- 4 [ **適用** ]、[ **OK** ] の順にクリックします。
- 5 upgradelogs ディレクトリで [ **設定** ] > [ **ログ** ] に移動します。Service Pack アップグレードのログ ファイルを表示またはダウンロードするには、<Service Pack バージョン番号>ディレクトリ（たとえば、7.1.1.2035 ディレクトリ）を選択して、Service Pack アップグレードのログ ファイルを表示またはダウンロードします。
- 6 **管理ポータル**にログインして、ブラウザ キャッシュの履歴を削除します。
- 7 Service Pack のアップデートが完了したら、アプライアンスを手動で再起動します。

① **メモ:** System Center Configuration Manager または System Center Virtual Machine Manager 向け OMIMSSC バージョン 7.1 のコンソールに登録済みの場合は、OMIMSSC バージョン 7.1.1 のコンソール拡張機能をアップグレードしないでください。

Service Pack アップデート リポジトリ作成の詳細については、「[Service Pack のアップデートについて](#)」セクションを参照してください。

## Service Pack アップデートのリポジトリへのコピー

### 前提条件

- ダウンロードした Service Pack をリポジトリに保存します。
- サーバパックのすべてのファイル形式が HTTP サーバでサポートされていることを確認してください。サポートされていない場合は、HTTP 管理者に問い合わせサポートを追加してください。次のファイル形式がサポートされています。
  - .RPM
  - .XML
  - .TXT
  - .BZ2

### このタスクについて

.BZ2 ファイル形式を有効にするには、次の手順を実行します。

### 手順

- 1 repo ファイルが保存されているサーバーで、IIS マネージャを開きます。
- 2 ホスト名を展開します。**サイト**、**デフォルト Web サイト** の順にクリックします。
- 3 **アクション** ペインで、**追加** をクリックします。  
[ **MIME タイプを追加** ] ウィンドウが表示されます。
- 4 **ファイル名の拡張子** に .BZ2 を、**MIME タイプ** に APP/BZ2 を設定して、**OK** をクリックします。

## リポジトリの準備

- 1 サービスパックファイルを直接 HTTP サーバーに配置します。
- 2 ダウンロードした Service Pack をダブルクリックして、指定した場所にファイルを解凍します。
- 3 HTTP サイトに解凍したファイルをコピーします。

## Service Pack アップデートのためのリポジトリ URL 情報の入力

OMIMSSC をアップデートするには、Service Pack アップデートがある URL 情報を入力します。

### このタスクについて

Service Pack アップデートを使用して OMIMSSC を更新するには、次の手順を実行します。

#### 手順

- 1 **OMIMSSC** で、**設定 Service Pack アップデート** を選択します。
- 2 オフライン パッケージを使用してアップデートするには、[ **リポジトリ URL** ] に、「**http://<サーバー名>:<ポート名>/<リポジトリパス>**」形式で URL 情報を入力し、必要に応じてプロキシ サーバーの詳細情報とサーバーにアクセスするための認証情報を入力して、[ **保存** ] をクリックします。

① **メモ:** URL 内に入力するホスト名にはアンダースコア ( \_ ) が含まれないように注意してください。

linux.dell.com を使用してアップデートするには、[ **リポジトリ URL** ] に、「**http://linux.dell.com/repo/omimssc-sccm-scvmm/<Service Pack バージョン>**」形式で URL 情報を入力し、必要に応じてプロキシ サーバーの詳細情報とサーバーにアクセスするための認証情報を入力して、[ **保存** ] をクリックします。

## Service Pack アップデートのインストール

### 前提条件

リポジトリの URL 情報が使用可能であり、**Service Pack アップデート** ページに含まれていることを確認します。詳細に関しては、「[リポジトリ URL 情報の入力](#)」を参照してください。

### このタスクについて

Service Pack アップデートをインストールするには、次の手順を実行します。

#### 手順

- 1 Service Pack が HTTP サイトに置かれたら、**OMIMSSC 管理ポータル > 設定 > Service Pack アップデート**の順に移動して、[ **アップデートのチェック** ] をクリックします。  
OMIMSSC の場合は、既存のバージョンとリポジトリで使用可能な Service Pack バージョンが表示されます。  
必要に応じて、リリースノートを表示することができます。
- 2 **適用**、**OK** の順にクリックします。
- 3 アップグレードアクティビティが完了したら、OMIMSSC 管理ポータルにログインし、次にブラウザのキャッシュ履歴をクリアします。

### 次の手順

インストール後の手順：

Service Pack のアップデートを確認するには、次の手順を実行します。

- 1 OMIMSSC 管理ポータルの **バージョン情報** に、Service Pack アップデートのバージョンの詳細が表示されます。
- 2 詳細については、OMIMSSC 管理ポータルで **設定 > ログ** を選択します。
- 3 **upgradelogs** ディレクトリで Service Pack アップグレードのログファイルを表示またはダウンロードするには、**<Service Pack バージョン番号>** ディレクトリ (たとえば 1.2.0.207 ディレクトリ) を選択して表示するか、Service Pack アップグレードのログファイルをダウンロードします。
- 4 Service Pack アップデートに失敗した場合は、**dell.com/support** にお問い合わせください。

- 5 アプライアンスを手動で再起動します。

① **メモ:** Service Pack のアップデートが完了したら、次の操作を行います。

- SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード
- SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード

## SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード

### 前提条件

古い OMIMSSC アプライアンスをバックアップしてあることを確認してください。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスのバックアップ](#)」を参照してください。

### 手順

- 1 OMIMSSC 管理ポータルで、**インストールツールのダウンロード** をクリックして、インストールツールを任意の場所に保存します。
- 2 OMIMSSC インストールツールを実行します。
- 3 アップグレードを求めるメッセージで、**はい** をクリックします。
- 4 OMIMSSC のようこそ ページで、**次へ** をクリックします。
- 5 **ライセンス契約** ページで、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択し、**次へ** をクリックします。
- 6 **インストール先フォルダ** ページには、デフォルトのインストールフォルダが選択されています。場所を変更するには、**変更** をクリックし、新しい場所をスキャンして、**次へ** をクリックします。
- 7 **プログラムインストールの準備完了** ページで、**インストール** をクリックします。
- 8 **InstallShield ウィザードの完了** ページで、**終了** をクリックし、インストールを完了します。

## SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード

### 前提条件

古い OMIMSSC アプライアンスをバックアップしてあることを確認してください。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスのバックアップ](#)」を参照してください。

### 手順

- 1 OMIMSSC 管理ポータルで、**インストールツールのダウンロード** をクリックして、インストールツールを任意の場所に保存します。
- 2 OMIMSSC インストールツールを実行します。
- 3 アップグレードを求めるメッセージで、**はい** をクリックします。
- 4 OMIMSSC のようこそ ページで、**次へ** をクリックします。
- 5 **ライセンス契約** ページで、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択し、**次へ** をクリックします。
- 6 **インストール先フォルダ** ページには、デフォルトのインストールフォルダが選択されています。場所を変更するには、**変更** をクリックし、新しい場所をスキャンして、**次へ** をクリックします。
- 7 **プログラムインストールの準備完了** ページで、**インストール** をクリックします。
- 8 **InstallShield ウィザードの完了** ページで、**終了** をクリックし、インストールを完了します。
- 9 SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能を削除して、再度インポートします。コンソールの削除の詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の削除](#)」を参照してください。

## OMIMSSC アプライアンスの再起動

### このタスクについて

OMIMSSC アプライアンスを再起動するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 1 OMIMSSC アプライアンス VM を起動して、ログインします。
- 2 **この仮想アプライアンスを再起動** に移動して、**Enter** キーを押します。

- 3 確定するには、**はい** をクリックします。  
OMIMSSC アプライアンスと必要なすべてのサービスが再起動されます。
- 4 VM の再起動後、OMIMSSC アプライアンスにログインします。

## OMIMSSC アプライアンスからのログアウト

- 1 OMIMSSC アプライアンス VM を起動して、ログインします。
- 2 **ログアウト**に移動して、**Enter** キーを押します。

## OMIMSSC のアンインストール

### このタスクについて

OMIMSSC をアンインストールするには、次の手順を実行します。

#### 手順

- 1 OMIMSSC 管理ポータルから、OMIMSSC コンソールの登録を解除します。詳細については、「[OMIMSSC コンソールの登録解除](#)」を参照してください。
- 2 登録されている Microsoft コンソールの OMIMSSC コンソール拡張機能をアンインストールします。詳細については、「[SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール](#)」または「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール](#)」を参照してください。
- 3 OMIMSSC アプライアンス VM を削除します。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンス VM の削除](#)」を参照してください。
- 4 アプライアンス固有のアカウントを削除します。詳細については、「[その他のインストールタスク](#)」を参照してください。

## OMIMSSC からの Microsoft コンソールの登録解除

1 台の OMIMSSC アプライアンスに Microsoft コンソールを複数登録している場合は、コンソール登録を 1 つ解除しても OMIMSSC での操作を継続できます。完全なアンインストールについては、『*OpenManage Integration for Microsoft System Center Installation Guide*』（Microsoft System Center 用 OpenManage Integration インストールガイド）を参照してください。

### このタスクについて

Microsoft コンソールの登録を解除するには、次の手順を実行します。

#### 手順

- 1 OMIMSSC で **コンソール登録** をクリックします。  
OMIMSSC アプライアンスに登録されているすべてのコンソールが表示されます。
- 2 コンソールを選択し、**登録解除** をクリックして、コンソールの登録とアプライアンスの統合ゲートウェイ ( IG ) の登録を削除します。

#### ① メモ:

- コンソールの登録を解除すると、コンソールに関連付けられていたホストサーバは OMIMSSC の未割り当てサーバリストに移動します。
- 3 ( オプション ) コンソールにアクセスできない場合、コンソールを強制的に登録解除するプロンプトが表示されたら、**はい** をクリックします。
    - 登録解除時に OMIMSSC コンソールがすでに開いている場合は、Microsoft コンソールを閉じてから登録を解除するようにしてください。
    - SCVMM ユーザーの場合 :
      - SCVMM サーバにアクセスできない場合に、SCVMM コンソールを OMIMSSC から強制的に登録解除するには、SCVMM で **アプリケーションプロファイル** を手動で削除してください。

## SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール

OMIMSSC\_SCCM\_Console\_Extension.exe をダブルクリックし、[ 削除 ] を選択して画面の指示に従います。

## SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール

### このタスクについて

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をアンインストールするには、次の手順を実行します。

### 手順

- 1 **プログラムのアンインストール** からコンソール拡張機能を削除します。
- 2 SCVMM コンソールからコンソール拡張機能を削除します。

## SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の削除

- 1 **コントロールパネル** で **プログラム** をクリックし、**プログラムのアンインストール** をクリックします。
- 2 **SCVMM 用 コンソールアドイン** を選択し、**アンインストール** をクリックします。

## SCVMM での OMIMSSC コンソール拡張機能の削除

- 1 SCVMM コンソールで **設定** をクリックします。
- 2 **OMIMSSC** を右クリックして、**削除** を選択します。

## その他のアンインストール手順

OMIMSSC コンソール拡張を SCVMM から削除するには、次のアカウントとプロファイルを削除します。

- アプライアンス固有の RunAsAccounts
- OMIMSSC アプリケーションプロファイル

## アプライアンス固有の RunAsAccounts の削除

### このタスクについて

アプライアンス固有の RunAsAccounts を SCVMM コンソールから削除するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 1 SCVMM コンソールで **Settings ( 設定 )** をクリックします。
- 2 **RunAsAccounts** をクリックします。
- 3 アカウントのリストから、アプライアンス固有のアカウントを削除します。  
アプライアンス固有のアカウントには、先頭に **Dell\_** が付いています。

## OMIMSSC アプリケーションプロファイルの削除

- 1 SCVMM コンソールで、**Library ( ライブラリ )**、**Profiles ( プロファイル )** の順にクリックし、**Applications profiles ( アプリケーションプロファイル )** をクリックします。

SCVMM で使用されているすべてのアプリケーションプロファイルが表示されます。

- 2 **OMIMSSC Registration Profile** を選択して、削除します。

## アプライアンス VM の削除

### このタスクについて

アプライアンス VM を削除するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 1 **Windows Server** の **Hyper-V マネージャー** でアプライアンス VM を右クリックし、**オフにする** をクリックします。
- 2 アプライアンス VM を右クリックし、**削除** をクリックします。

# Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス

必要なドキュメントに、次のリンクを使用してアクセスできます。

- Dell EMC エンタープライズシステム管理のドキュメント — [www.dell.com/esmmanuals](http://www.dell.com/esmmanuals)
- Dell EMC OpenManage のドキュメント — [www.dell.com/openmanagemanuals](http://www.dell.com/openmanagemanuals)
- Dell EMC リモートエンタープライズシステム管理のドキュメント — [www.dell.com/esmmanuals](http://www.dell.com/esmmanuals)
- iDRAC および Dell Lifecycle Controller のドキュメント — [www.dell.com/idracmanuals](http://www.dell.com/idracmanuals)
- Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズシステム管理のドキュメント — [www.dell.com/esmmanuals](http://www.dell.com/esmmanuals)
- Dell EMC 保守ツールのドキュメント — [www.dell.com/serviceabilitytools](http://www.dell.com/serviceabilitytools)
- a [www.dell.com/support](http://www.dell.com/support) へ進みます。
- b **すべての製品を参照** をクリックします
- c **すべての製品** セクションで **ソフトウェアおよびセキュリティ** をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
  - 分析
  - クライアントシステム管理
  - エンタープライズアプリケーションです。
  - エンタープライズシステム管理
  - 公共機関向けソリューション
  - ユーティリティ
  - メインフレーム
  - 保守ツール
  - 仮想化ソリューション
  - オペレーティング システム
  - サポート
- d ドキュメントを表示するには、必要な製品をクリックしてから、必要なバージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
  - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

## デルへのお問い合わせ

### 前提条件

- ① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

### このタスクについて

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

## 手順

- 1 **Dell.com/support** にアクセスします。
- 2 サポートカテゴリを選択します。
- 3 ページの下部にある **国 / 地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
- 4 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。